

2019年11月6日

産婦人科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「子宮内膜症の進行メカニズムの解明と病勢を反映するバイオマーカー（リゾホスファチジン酸：LPA）確立に関する診療情報、病理検体、血液検体を用いる研究」への協力をお願い

産婦人科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2016年1月～2019年10月に当科において、子宮内膜症と診断され治療、子宮内膜症手術、帝王切開を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2023年3月31日

研究目的・方法：

子宮内膜症の進行メカニズムを明らかにし、その病勢を反映するバイオマーカーを確立することを目的とします。

診療録から過去に本治療を受けた患者情報を抽出し、手術で得られた検体や血液を使用して、リゾホスファチジン酸（Lysophosphatidic acid：LPA）がバイオマーカーとなり得るのか研究します。

研究に用いる試料・情報の種類：

患者年齢、既往歴、産科歴、治療開始時の年齢、身長、体重、不妊治療歴、自覚症状、画像診断所見、病理診断、手術情報、妊娠の有無、血液検査結果（白血球数、Hb、CRP、AMH、CA125）

手術で得られた病理検体

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 産婦人科
電話番号 058-230-6349
氏名：菊野 享子

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 産婦人科
氏名：菊野 享子